

PDFからの脱却

【取組内容④】「諸会議のペーパーレス化からクラウド化」

取組内容

本校では、昨年度まで様々な会議資料をPDFで共有し、ペーパーレス会議を行っていたが、いくつかの会議資料をクラウド化（GoogleドキュメントやGoogleスライドに変更）することで、業務改善を図った。

工夫点

今まで会議で変更点があった場合には、担当が自分のファイルを打ち直し、再度PDFにして共有するという流れがあり、担当の負担があった。クラウド化に伴って、会議中の変更が容易にできるようになった。また、生徒に配布する資料等のリンクを貼り付けることができ、画面上ですぐに複数の資料を確認することができるようになった。

2学年会 9月12日（火）

1. 情報共有 担当:各目（書き方:「名前 日付 内容」の順に書いて下さい）

2. 学活について 担当: 彩

3. 道徳について 担当: 隆太郎

日付	1組		2組		教材
	T1	T2	T1	T2	
9月14日（木）					

図1 学年会資料

4. 総合について 担当: 隆太郎

- ・実施要項（今週の企画委員会で提案します。内容を確認して下さい。）
- ・スケジュール（職場体験前の活動を今一度見直して下さい。）
- ・受け入れ先事業所（職場体験時の各担当を決めましょう。）
- ・履歴書（一応作ってみました。書いた方が良い項目があれば教えて下さい。）

図2 学年会資料



生徒指導に関する会議のようす

白紙共有し、各担当が会議までにそれぞれのタイミングで情報を打ち込んでいる。

生徒に配布する資料のリンクを貼り付けることで会議で修正後にすぐに生徒と共有することができる。

各担当が事前に打ち込んだ内容を報告しながら、記録係が追加の情報を書き込んでいる。

取組後の変容

会議資料をクラウド化したことで、各担当が好きなタイミングでいつでもどこでも書き込むことができるようになった。また、会議中の議事録を記録係が取ることで、他の職員は画面上で議事録を見ながら細かいところまで議論することに集中できる。より効率よく会議が進むことで、会議を時間内で終わらせることができる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容④】「校内研修でのクラウド環境の活用」

取組内容

校内研修の際に、各自が大切だと感じたキーワードをジャムボード(図1)の付箋機能を利用し、メモを取ることにした。また、研修のまとめとしてスライド(図2)にジャムボードをスクリーンショットしたものを貼り付け、学んだことを文章で書くという形式を実施した。

工夫点

StuDX Style等で紹介されている先進校の授業スタイルを校内研修に取り入れた。受け身が多かった研修が積極的に学ぶ研修へと改善された。また、ファイルの白紙共有・協働編集・他者参照を教師自身が体験することで、それぞれの授業への導入につながる取組であった。また、StuDX Styleにある各教科の実践事例をそれぞれの教科で学び、学んだことを他教科と共有する場面があり、個別最適な学びと協働的な学びがみられた。



図1 キーワードを書いたジャムボード

ひとつのジャムボードを全員で共有し、いつでも他者参照ができる。

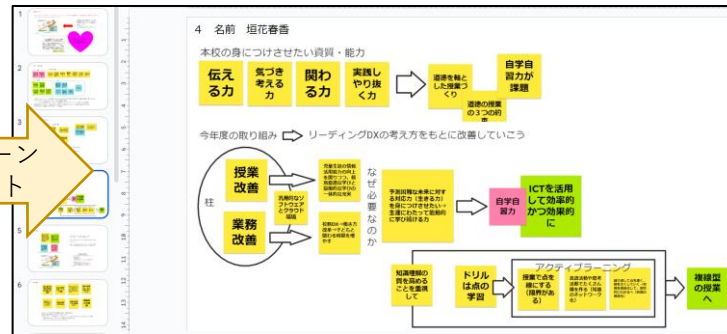


図2 研修のまとめを書いたスライド

今までの代表者数名の意見だけではなく、全員の学びを知ることができる。自分の学びを深めることにつながった。



校内研修のようす

職員同士の学び合いが生まれていた。

取組後の変容

校内研修を重ねていくごとに、先生方のタブレットを活用した授業実践意欲が高まった。また、汎用ソフトの操作ができるようになると、苦手意識があった先生が「授業で使ってみよう」と得意な先生に聞くことが増えてきた。教科を超えた先生方同士での学び合いが生まれた。

【取組内容⑤】「チャット機能を利用した校内連絡の効率化」

取組内容

Googleチャットを活用し、校内連絡をチャットで行うようにした。教頭先生からの業務に関する連絡や学年での情報共有、ファイル共有などを行う。また、小中連携での連絡などもチャットで行うこととした。

工夫点

最初はLDX関係の情報を共有することが多かったが、教育委員会や教育事務所からの全職員向けの情報を教頭先生を中心に共有することが増えた。また、校務分掌や学年ごとのチャットスペースを作成することで、利便性を感じる事ができている。

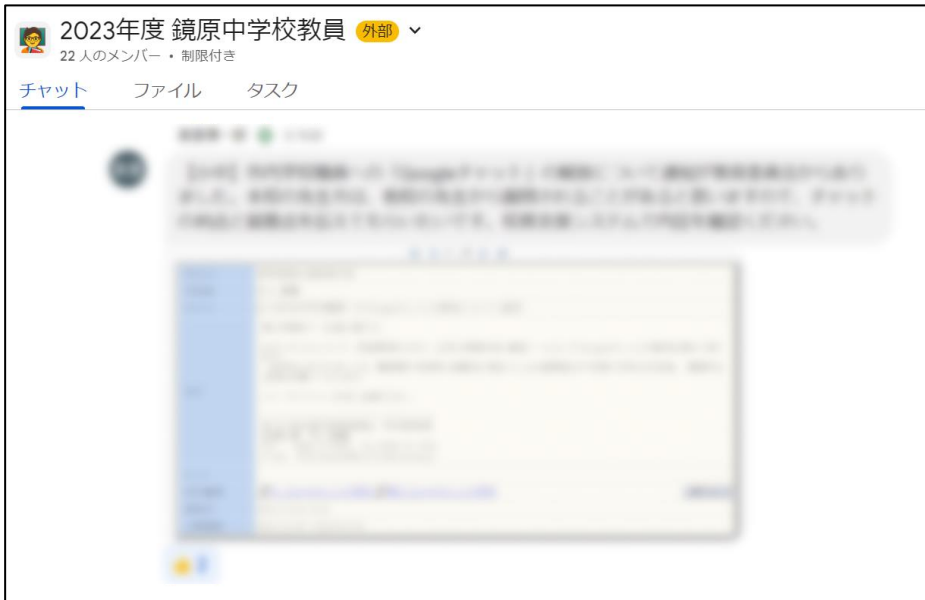
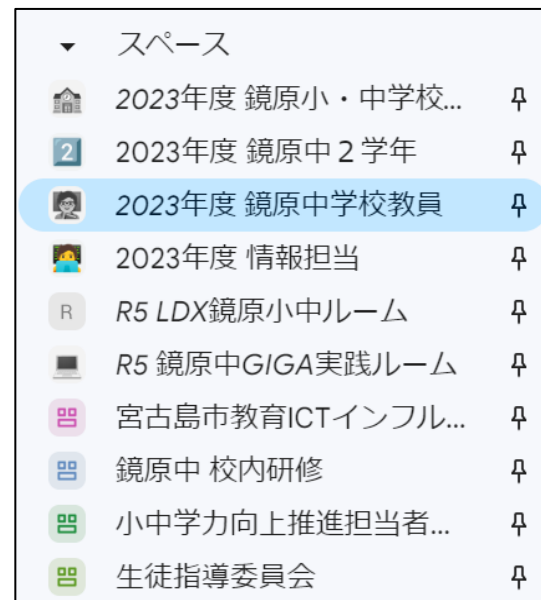


図1 本校全体のチャットスペース

教頭先生を中心に校務の情報共有が行われている。



現在のスペース

校務分掌や学年、小中連携などそれぞれのスペースがある。今後、宮古島市全小中学校にチャットが広まるため、より情報共有がしやすくなる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容⑤】「チャット機能を利用した校内連絡の効率化」



ファイルの検索
検索で瞬時に発見し、
見返すことができる。

チャットで
共有したファイル
チャットで共有された
ファイルはこのように
一覧で表示される。

取組後の変容

チャット機能で情報を共有することで、いつでもどこでも確認することができる。今までは校務支援で情報やファイルを共有していたため、学校のPCでしか確認することができなかったが、チャットを活用することで先生方のスマートフォンアプリからでも確認することができるため、体育的行事などで体育館や運動場にいるときでも、行事の要項を確認することができる。

【取組内容①】「クラスルームを活用したラーニングガイドの共通実践」

取組内容

クラスルームを活用し、ラーニングガイド(学習の手引き)を示し、生徒自身が学びの見通しをもって学習に取り組めるようにした。

工夫点

大まかな記載事項のみ共通として、各教科でよりよいラーニングガイドとなるように工夫している。生徒がこのラーニングガイドをもとに見通しをもって学習できるようになることを目指している。

<p>理科 第3章 水溶液の性質 第1時</p>	<p>国語 目：古典作品に描かれた人々の姿から、読み手としての面白さについて考えよう。</p>	<p>社会 から弥生への変化 12/20 (最終編集: 2023/12/20)</p>
<p>【課題】 「物質が水に溶ける」とは、どのような意味があるのか。めあて・課題・本時のゴール など</p> <p>【手頃】 ① 今日の課題に対する「めあて」を学習シートに記入する。 ② 教科書105や実験動画を観て実験を行う。 (ステップ1: 水に入れる前の質量をはかる ステップ2: 水に入れる後の質量をはかる) 授業の流れ・活動の流れ など (ミニ指導案な感じ) がいを観察する (ステップ3: 実験の結果をスライドにまとめる) (ステップ4: 結果を参考に考察(水に溶ける物質と溶けない物質を水に入れて時の共通点とちがう点は何か?)をまとめる) (ステップ5: 今日の課題に対するまとめを学習シートに記入する) (ステップ6: 今日の学習の振り返りを学習シートに記入する)</p> <p>【評価基準】 B評価: 適切に実験を行い、物質が水に溶けるか観察し、結果をまとめることができる。説明できる。 A評価: 適切に実験を行い、結果をまとめることができ、考察を行うことができる。</p> <p>実験動画 1.mp4 動画 実験動画 2.mp4 動画 必要な資料やソフト など ろ過の仕方.mp4 動画 Google スライド</p>	<p>【身につけたい力】 ① 歴史的仮名遣いや古典特有の文末表現に慣れる。 ② 古典作品に描かれた当時の価値観を知り、古典を学ぶ意義について自分の考えを持つ。</p> <p>【活動内容】 ・ 当時の人々と現代の人々の考え方を比較して、古典を学ぶ意義について自分の考えを持つ。</p> <p>【授業の流れ】 ① 音読をする。 ② かくや婚の行動から心情を考える。 ※ 前回の確認 ③ 課題「現代の日本人の価値観と昔の日本人の価値観を比較して気付いたことや考えたことを書こう」 ④ 考えたことを共有する ⑤ 「古典の面白さ」って何だろう？ ⑥ まとめ「古典を学ぶ意義について改めて自分の考えをまとめよう」</p> <p>【評価】 <思考・判断・表現> ・ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、古典作品の価値について考え、自分の考えを確かなものにする。 <主体的に学習に取り組む態度> ・ 進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、古典に描かれた人間の心のありようについて話し合おうとしている。</p>	<p>【本時の課題】 縄文・弥生時代の日本列島の人々の生活には、どのような特徴があったのだろうか</p> <p>【本時の流れ】 1. 教科書p.26-27を読み、本文と資料を線で結ぶ。 2. 課題に対する予想を記入する。 ※ここからはすべてスプレッドシートを使います。 3. 本時の目標(何レベルまでの達成を目指すか)を設定する。 Lv.1 縄文時代の人々が行っていた食料の集め方は？ Lv.2 食料の保存などのために使われた土器の名前と特徴は？ Lv.3 人々はどんな家に住んでいた？ Lv.4 家の近くにあって「貝塚」(かいつか)って何？ Lv.5 「土偶」(どくわう)は何のために作られた？ Lv.6 ①弥生時代に伝わった農業、②農業に使われた道具・建物 Lv.7 人々が暮らしていた場所は？ Lv.8 稲作と一緒に中国や朝鮮から伝わったモノとは？ Lv. MAX 課題に対するまとめ ※Lv. MAXが本時の課題に対するまとめになります。 ※みなさんが入力したものは先生がチェックし、バッチリならピンク色、不完全なら水色に記入らんの色を変えます。自分の記入らんが水色になった人は、もう一度そのレベルの課題を解きなおし、ピンク色になるまでチャレンジしてください。</p> <p>4. 本時の振り返りと自己評価を記入する。 Lv. MAXまで終わって時間が余った人へ 自己評価の右側にチャレンジ課題があるので、ぜひ取り組んでください。 自分の考えが出せたら、同じようにチャレンジ課題に取り組んでいる友達を見つけて、意見交換をしてくださいね。</p>

取組後の変容

授業の流れがラーニングガイドで可視化されたことで、授業中に教師が説明を行う時間を短縮でき、生徒一人一人が自ら主体的に授業に取り組みやすくなった。また、生徒自身でラーニングガイドを見直し、次の過程に進む姿が見られた。教師側では、支援を必要としている生徒への支援を行う時間が増えることにつながった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮古島市立鏡原中学校（沖縄県）

【取組内容①】「1授業1アウトプットの実践」

取組内容

各教科では、スライドやジャムボードなどを白紙共有し、学級全体で共同編集を行いながら学習を進め、各自で学習中に他者参照を行いながら生徒一人一人が自分自身で学習をアウトプットする場面の設定を行った。

工夫点

各教科でスプレッドシートやジャムボード等を活用し、生徒一人一人がアウトプットする場面を設定した。特に振り返りをスプレッドシートで行う教科が多く、生徒自身で自分の学びを文章化することができている。

社会

スプレッドシート

- ・一覧になっているため、他者参照がしやすい。
- ・プルダウンを使うこともできる。

3	時代		
4	教科書のココを読んで！	まとめ・振り返り	
6	LV MAX	縄文時代では、狩りや漁採集などをして、食べ物を探して、堅穴住居にすんだ。土器は、縄文土器も出来た。 弥生時代では、稲作や弥生土器や青銅器、鉄器なども広まった。高床倉庫と土着倉庫も出来た。	縄文時代と弥生時代では、どちらとも土器があり、食べ物には、動物や魚のみなどから稲作に変わった。など、時代によっているな変化があることがわかった。教科書を見て自分なりにまとめることが出来た
7	LV MAX	縄文・弥生時代の人々の生活は狩りや漁などで食料を集め、たて穴住居に住み土器や縄文土器などを作り、水田の近くに集落・高床倉庫も造ったり稲作・青銅器・鉄器などが中国から伝わってきたりした。	今日は教科書を読んで縄文時代と弥生時代の人々の生活の特徴について自分なりにまとめることができた。
8	LV 8	縄文・弥生時代には狩りや漁・採集を季節によって変えながら暮らしていた。中国から稲作が伝わり水田の近くに暮らしていた！！！！！！	
9	LV 7	縄文時代、弥生時代のひとは、たて穴住居に住み、土器や道具を使い、狩り、漁、採集、農耕などを行って生きていた。	日本の歴史の縄文時代と弥生時代のどうやって食べ物を取っていたか、どんな場所に住んでいたか、どんな農業のしていたかということが分かった。自分の目標レベルまで行けた

理科

ジャムボード

- ・付箋機能や画像の挿入がしやすい。
- ・手書きでも打ち込みでも文字入力することができる。

水とエタノールの温度変化

2本目 変化なし → エタノール → 水

3本目 変化なし → 無臭 → 水

エタノールは水より沸騰する温度が低いから、先に出てくる。
 ⇒1本目に出てくる
 水はエタノールより沸騰する温度が高いから後に出てくる。
 ⇒3本目に出てくる

	1本目	2本目	3本目
色	濁った	濁った	濁った
匂い	エタノール	少しエタノール	匂いなし
火をつけると	燃えた	燃えなかった	燃えなかった

1本目⇒エタノール
 2本目⇒エタノール・水
 3本目⇒水

熱した時の温度の変化

	1番	2番	3番
色	白い	白い	白い
におい	アルコール	なし	なし
燃えたとき	燃えた	燃えた	燃えなかった
エタノール	エタノール	エタノール	水

考察
 1番はアルコールのにおいから火についたら燃えたらエタノール
 2番は火についたら燃えなかったから水、エタノール
 3番は水

取組後の変容

今まで振り返りを文章で書くことが苦手な生徒や何を書いたらいいかわからなかった生徒が、他者参照を行いながら、自分自身の言葉で自分が学んだことや学び方に関して表現することができるようになった。また、白紙共有されていることで、「学んだことをどのようにまとめたらわかりやすいか？」などを考えながらアウトプットするので、授業中に頭をフル回転させて学習に取り組むことができている。